

*Organo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO*

# Heroldo de HEL

N-ro 147

Junio 2013

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

## [Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- Fru-somera kunlogado en Hokkajdo en 2013/2013年 P. 2  
北海道初夏エスペラント合宿のご案内/HEL研究教育部
- De S-ro Betululo/樺山祐介 P. 5
- Danke ricevitaj --受領郵便物-- (星田淳 扱い) P. 6
- Trovoj/HOSIDA Acus'i P. 8
- 札幌郷土を掘る会・「協賛団体」について/HOSIDA Acus'i P. 9
- 平和憲法の初心/札幌郷土を掘る会 P. 10
- 報告と講演/札幌郷土を掘る会 P. 11
- Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido de HEL/ P. 12  
北海道エスペラント連盟 2013 年度第3回委員会議事録
- 私の読んだ本/Mia legita libro(2)/阿部映子 P. 13
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P. 14

Fru-somera kunlog'ado en Hokkajdo en 2013/2013年

## 北海道初夏エスペラント合宿のご案内

北海道エスペラント連盟 研究教育部

[www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/info\\_evento/.../KUNL13-j.htm](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/info_evento/.../KUNL13-j.htm)

心の国境をなくし、どの民族にも不利にならない平等なコミュニケーションを目指す国際補助語エスペラントの学習会を開催します。

北海道エスペラント連盟では、次のとおり「初夏合宿」を実施します。エスペラントはまったく初めて、というかた向けの「入門クラス」も設けています。ローマ字の読み書きができれば（小学校高学年以上）、入門の学習は可能です。初めての方も、この機会にエスペラントの初歩を体験してみませんか。

名称：北海道初夏エスペラント合宿  
主催：北海道エスペラント連盟  
場所：札幌市西区西野1条7丁目 柴田内科循環器科研修センター

交通：地下鉄東西線宮の沢駅下車、5番出口を出て「西友」「ちえりあ」前を過ぎ 山の方に向かって直進、左側の「ローソン」の前の角を左折すると、やがて右側に研修センターの看板が見えてきます（宮の沢駅から徒歩10分）。

JR北海道バス「西野2条6丁目バス停」から経路については、地図に従って信号で曲り、会場にいらしてください。

期間：6月29日(土) 受付11:00～講習開始13:00

6月30日(日) 講習開始9:00～解散11:45

内容：4クラスを予定

入門・初級1・初級2・会話(歌や文法も)

参加費：資料代500円、宿泊費500円

(食事の提供はありません。食費は別途)

持ち物：筆記用具、1泊分の着替え、洗面具など

その他：駐車スペースに限りがありますので、自家用車での参加は極力ご遠慮ください。

宿泊なしでの参加もできます（その場合、参加費は資料代のみで500円です）。

お問合せ・お申込み：

川合由香（北海道エスペラント連盟事務局長）

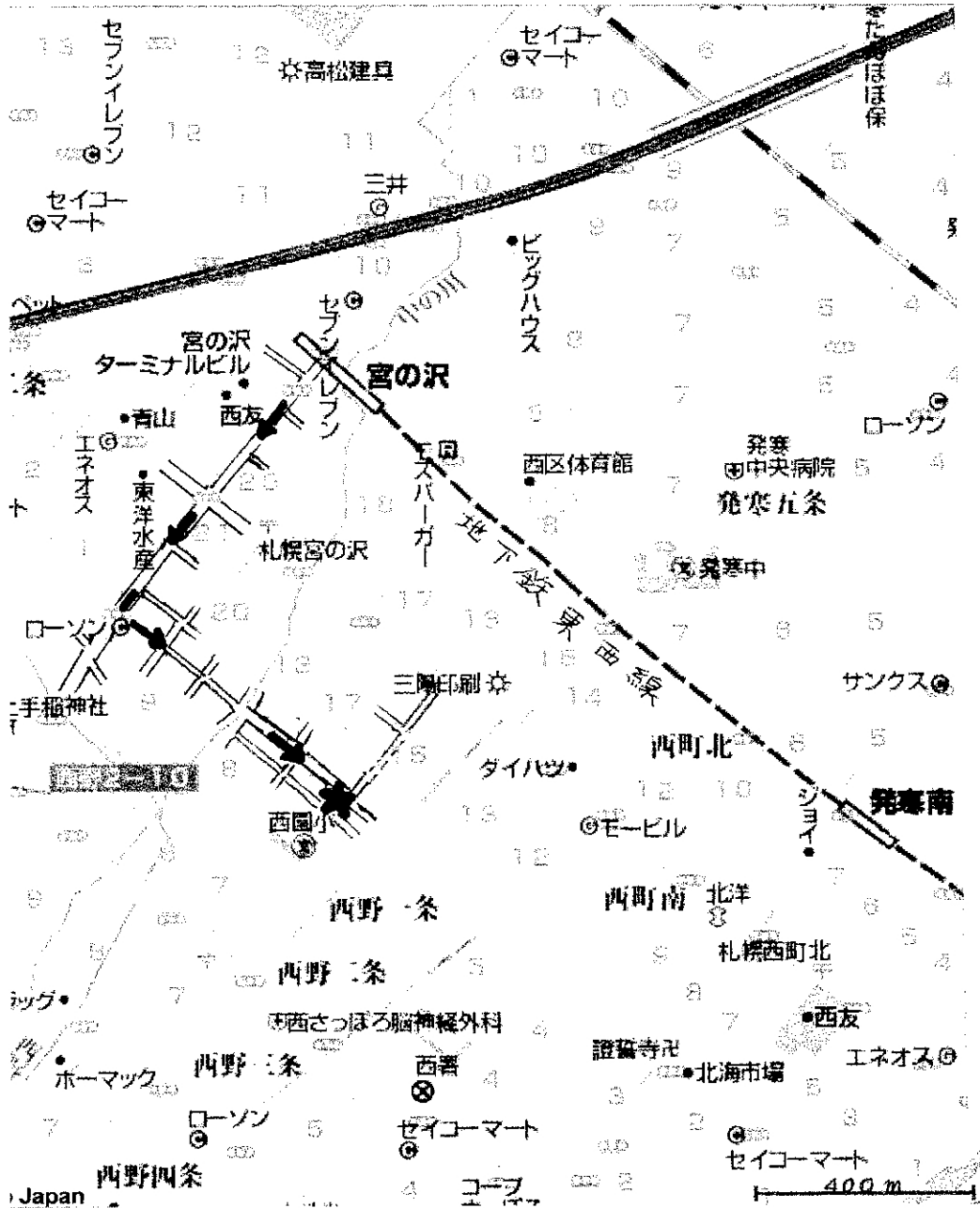
Tel.: 0126-62-4636

または、

(連盟研究教育部担当)

阿部 映子 Tel: 011-271-8908

地下鉄「宮の沢駅」からの地図は、こちら







De S-ro Betululo

樺山祐介

Gramikoj'

2013/3/7

前略

Legante kun senpaŭza rido,  
mi estis konvinkita firme,  
ke ĉiu esperanto devas legi ĉi tiun libron.  
Do mi donacas ĝin al vi kun bondeziro.

草々

Betululo

おつかれさまです。作業の合間にでも、持ち帰ってでも  
どうぞ みなさまで ご笑覧ください。

樺山 祐介

---

樺山さんから送られてきた本は  
「日本人の知らない日本語」(株)メディアファクトリー発行  
のシリーズ1式3冊。日本語学校の先生が外国人学生の日本人では気付か  
ないような疑問や斬新な(?)表現に四苦八苦する はなしです。  
読みたい方に回します。6月初め現在苫小牧に1冊、札幌に2冊 あります。

————— La Red.

\*Novaj`oj Tamtamas: Internacia Gazeto de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hama-Rondo); N-ro 281/aprilo 2013, A4X4 頁、全文E. トップ記事は Rekviemo eh`e levig`is en la martan c`ielon! は3月9日横浜みなとみらいの氷川丸前での東日本大震災犠牲者に捧げる「鎮魂の歌」演奏について。後半2頁は第90回読書会の "Viktimoj"/Julio Baghy について。

\*La Tamtamo: 第453号, 2013年4月号, A4X10 頁、横浜エスペラント会/JER 発行、日本文。氷川丸前の「鎮魂の歌」、入門講習会、Viktimojの感想など。

\*Al Vi Kara : Kioto-Esperanto-societo; N-ro 103, aprilo 2013: B5X 28頁のうちE. 文8頁弱。会員・中川邦彦さん(昨年10月死去)の追悼記事が7頁。活動報告に外国からのお客歓迎の記事が多い。

\*La Movado; 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行, N-ro 747 majo 2013, B5X20 頁のうちE. 文6頁半。巻頭記事: sajakakajesperantistoj (沙也可とエスペランティスト) /so gilsu (除吉沫) は沙也可から2人のエスペランチスト長谷川テル、岡本好次を連想して、この3人の行動の基本は homaranismo と一致する、と述べる。「切手やシー

ルにまつわる思い出」は昨年 of 日本大会でも協力をいただいた前川治也さんの文。

\*協賛団体のお願い: 2013. 4. 14, 札幌郷土を掘る会

\*報告・講演会の案内: 2013年5月、郷土を掘る会

(上記2件, 9~11頁参照)

\*NOVA VOJO: N-ro 495 majo 2013, EPA(エスペラント普及会) A5 X32 頁の内E. 文6頁。巻頭言: 「宗教協力・世界連邦建設・エスペラント運動の連携協働について/稲垣尋裕彦」、EPA 創立90周年記念行事の案内、4月の国際エスペラント合宿(韓国南岡書院)の速報、2頁に写真11枚。

「EPAの90年-ちょっと小路へ(2)」は大正14年(1925)の白山丸による欧州航路を西村光月氏ほか1名の記録から描いたもの。当時の世界をかいま見る趣があっておもしろい。同船の乗客で同年の第17回世界エスペラント大会

(ジュネーブ)に出席した函館の虎渡乙松氏について、ややくわしい説明がある。

\*La Movado; KLEG 発行, N-ro 748 junio 2013, B5X16頁のうちE. 文2頁。巻頭記事は「Indonezia Esperanto-Asocio 設立総会に立ち会って/松本緑」。長く姿を消していたインドネシ

アの 에스ペラント運動が再起、48年ぶりの大会が4月ボゴールで開かれた。この記事の筆者は Kajero Libervola/Naskig'o de Impresionismo も担当している。インドネシア大会の参加記事も2つ。運動記事にHEL初夏合宿の予告。前号から2回続いた「関西の雑誌発行活動/峰芳隆」は1956年以降出された Prometeo, Kajero, L' omnibus, La Dua buso, Riveroj, Pacon en Vjetnamio の歴史の記録。

\*Novaj'oj Tamtamas: JER(Hama-Rondo 発行) n-ro 282/majo 2013, A4X4頁、全文E. トップ頁はいつもの行事報告や予告。ESEJOJ の Parolas iama lernanto de Julio Baghy/HIROSE K. は Adelajda UK で会った hungara esp-istoの思い出。BELETRO 欄は Du frat-oj(二人の兄弟: 島崎藤村原作、esp-igis AIDA Kiyosi)

\*La Tamtamo: 第454号, 2013年5月号, A4X8頁、JER 発行、日本文。「横浜 에스ペラント会の歴史/牧野三男」は1956年小学校教師時代、学校に外国のエスペランチストを迎えた写真等。

\*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo: 関東 에스ペラント連盟)/Majo 2013 N-ro 258, B5 X 24頁のうちE文9頁半は IMPRESO DE ISRAELO 2013/04/18-22 (第7回アジア大会報告/Sasaki Teruhiro) と

Leteroj de Tigro(9): Amikeco inter japana bonzo kaj honkonga budhano dum la dua Mondmilito。後者は前大戦中香港で日中仏教聯合会を組織した日本人僧宇津木二秀について。「朝食抜きでトレッキングはできるか/堀泰雄」は去る2~3月のネパール訪問の話の続き。

\*La Vulkano; N-ro 169 Majo 2013; LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO. B5 X8頁のうちE. 文1頁半は La voĵag'o post la Kurskunveno(1)/MUTO Tacuko; 韓国での合宿の後の小旅行。「第99回日本 에스ペラント大会に参加して/水川尚美」は大会と札幌の印象記。カラー写真が多く美しい。

\*Mejls'ono: 2013 majo n-ro 237  
仙台E会: B5X12 頁中E. 文1頁半は La 7-a Azia Kongreso de Esperanto en Jerusalemo, Israelo/SAITO Tume, 第7回アジア大会報告 と "Bonvenon AL Esperanto" okazis unuafoje en 2013/IMAIZUMI Hisanori: 日本語記事に「仙台緑の合宿のお知らせ」、「クライストチャーチのエスペランティストを訪れて/高田彩」、行事予定等。  
\*受講生通信 第148号, 2013-06-01, 沼津 에스ペラント会, B5X14 頁の内E. 文1頁。行事予定に HEL初夏合宿。「受講者のお便りから」に中田実さん(札幌)の質問。

T r o v o j (dau rigo : 前号から続き)

HOS`IDA Acus`i

\* 前号最後の質問は

> ——— Adolfo kaj Jono pafis per la pafarko super la tombon,  
> c`ar ili ne havis pafilojn au` kanonojn.

> は何の意味だと思えますか？

でした。Esp. 文の最後の行は

「銃も大砲も持ってないから」 だから わかりますね。

持っていたら発射(発砲)するはずなのでしょう。  
死者を弔うための発射—— 弔銃 ですね。

ついでながら、アイヌの熊祭り(クマ送り)では  
熊の魂が天に帰る道を開くために天に向かって  
高く矢を射ちあげてまつりは終わります。

ちょうど20年前エスペラントから訳された本「弔銃」が出て 読んだ  
のを思い出します。

クロアチアの Spomenka S`timec が内戦中のユーゴスラビアでの  
悲劇を描いた作品でした。彼女が書いたのは戦死者を葬るときの弔銃です。

「自分の国の男たちに兵士の一斉射撃で別れを告げなくてよい国は  
どの国でも より幸福な国だと言えます」と書かれていました。

「戦争を放棄」して66年、一人の戦死者も 出していない

日本は 世界でも少ない「幸福な国」なのだ と気づかされます。

「一斉射撃で別れを告げる」・・・原文では adiau`aj salvoj と  
表現されていました。この本の原本は

KROATA MILITA NOKTOLIBRO/Spomenka S`timec, eldonita de  
Pro Esperanto: Vieno 1993 でした。

\* 高杉一郎(小川五郎)さん

Heroldo 前号の「私の読んだ本(1)」で高杉さんのことを読み、彼に  
会ったころを思い出しました。1986年夏、北京の世界エスペラント大会に  
参加したとき。彼は本名(小川五郎)で同じホテル(友誼賓館)におり、  
私がハバロフスクを訪問した時のことを話したら

「それはハバ(´)ーロフスクと言うんですね」とロシア語のアクセント  
を教えられたのを覚えています。

## 札幌郷土を掘る会・「協賛団体」について

HOS^IDA Acus^i

札幌郷土を掘る会から「協賛団体のお願い」が来ました。  
要旨：

---

この会は日本・東アジアの歴史的事件の記念日など  
(例：韓国併合条約、柳条湖事件、太平洋戦争開戦日など)に行事を行って  
いますが今年6月に護憲集会「平和憲法の初心」、11月3日  
(日本国憲法公布日)の札幌民衆史講座も行う予定です。  
今年からは以前のように 関連諸団体の協賛をいただきたい。協賛内容は  
集会の宣伝・参加呼びかけのみです。

---

エスペ란チストとして近隣諸国の仲間との交流にあたって相互の  
歴史認識への理解は欠かせないし、この会は昨年5月再建された  
民衆史道連 の中心的な団体ですので 連絡を維持したいと思います。  
2011年の9.18記念日集会では戦争体験報告を 星田に依頼があり  
講師を務めました。SES 会員の出席もいただき新聞記事には講師の  
関連情報としてエスペラントについての解説も出ていました。  
(Heroldo de HEL No. 139参照)

HEL委員の間で若干の意見交換がありましたが その結果 4月末  
「協賛団体となることに 同意」の返事を出しました。

従来 Heroldo の Danke Ricevitaj で 「札幌郷土を掘る会」の  
行事の紹介もときどき出ていましたが 今後は協賛する団体の行事の広報  
として お知らせすることになります。よろしく。

戦後最大の憲法危機の中、緊急発行

# 『平和憲法の初心』

冊子

現在提起されている「自民党改憲案」（「日本国憲法改正草案」）は現行9条「戦力不保持」を「国防軍の保持」に変えるだけでなく、前文で「天皇を戴く国家」、第1章で「天皇は、日本国の元首」と明記、天皇中心の国家体制であることを国民に強く意識させようとしています。さらには、国会による憲法改定の発議要件（96条）を現行の「各議院の総議員の3分の2以上の賛成」から「過半数の賛成」に緩和するなど、改定条項は多岐に亘り、総じて「国を縛り、基本的人権を保障する近代憲法」から「国が国民を縛る前近代的な憲法」の様相を呈しています。

この政府の行為は国際的にも異例であり、この“目的達成のためには手段を選ばず”という行為は“姑息な手段”と言わなければなりません。

現在、改憲議員数が3分の2以上を占める衆参の国会を鑑みますと、戦後最大の憲法危機といえます。

札幌郷土を掘る会は、過去に「制定当時、9条など日本国憲法をどのように受けとめましたか」とのテーマで当時の各階層の65名から聞き取りを行いました。それらは全て戦争の悲惨さを踏まえての体験証言です。その内39証言が当冊子に掲載されました。以下は証言例と制定時の世論調査結果です。

## 制定当時の

児童・生徒・学生から『あたらしい憲法のはなし』の戦力放棄の絵は強烈に覚えている」、主婦から「これから戦争のない平和な世界になると思い、大変嬉しかった」、勤労者から「9条は日本の誇りであり、大きな喜びである」、掃箒者から「兵役がなくなったのでよかったと思った」、被弾匠者から「象徴天皇に不快感をもった。9条は日本人として誇りにするとともに世界に普及を」、教員から「中学校教師として『あたらしい憲法のはなし』で子供たちと共に学んだ」など。

世論調査結果：「戦争放棄賛成70%」（『毎日新聞』1946年5月27日付）

- A5判
- 無料
- 注文：郵送代1冊80円（同封の郵便振込用紙をお願いします。）

\* なお、冊子『平和憲法の初心』は6月28日（金）の札幌郷土を掘る会主催の憲法集会の場で希望者に配布される予定です。

発行：札幌郷土を掘る会

2013年5月

連絡・注文先： T・F011-785-2622（小松方）

## 報告と講演

報告「平和憲法の初心」

講演「**制定時からの改憲・護憲運動**」

- 自民党改憲案を中心に -

講師：石田明義（弁護士）

報告：札幌郷土を掘る会

日時：6月28日（金） 午後6：30～9：00

場所：札幌市リンケージプラザ（第2研修室、北1西9、駐車敷地内に若干可）

参加費：500円

現在提起されている「自民党改憲案」（「日本国憲法改正草案」）は現行9条「戦力不保持」を「国防軍の保持」に変えるだけでなく、前文で「天皇を戴く国家」、第1章で「天皇は、日本国の元首」と明記、天皇中心の国家体制であることを国民に強く意識させようとしています。さらには、国会による憲法改定の発議要件（96条）を現行の「各議院の総議員の3分の2以上の賛成」から「過半数の賛成」に緩和するなど、改定条項は多岐に亘り、総じて「国を縛り、基本的人権を保障する近代憲法」から「国が国民を縛る前近代的な憲法」の様相を呈しています。

この政府の行為は国際的にも異例であり、この“目的達成ためには手段を選ばず”という行為は“姑息な手段”と言わなければなりません。

現在、改憲議員が3分の2以上を占める国会を鑑みますと、戦後最大の憲法危機といえます。

そうした中で、当講演では日本国憲法制定時から今日までの改憲・護憲運動を軸に昨今出された「自民党改憲案」の問題点と運動の新局面を明らかにします。

札幌郷土を掘る会は、過去に「制定当時、9条など日本国憲法をどのように受けとめましたか」とのテーマで当時の各階層の65名から聞き取りを行いました。それらは全て戦争の悲惨さを踏まえての体験証言です。その内39証言が6月27日発行予定の冊子『平和憲法の初心』に掲載され、当報告で初心の特徴が階層ごとに紹介されます。以下は証言例と制定時の世論調査結果です。

制定当時の

**児童・生徒・学生**から『あたらしい憲法のはなし』の戦力放棄の絵は強烈に覚えている」、**主婦**から「これから戦争のない平和な世界になると思い、大変嬉しかった」、**勤労者**から「9条は日本の誇りであり、大きな喜びである」、**婦孺者**から「兵役がなくなったのでよかったと思った」、**被弾者**から「象徴天皇に不快感をもった。9条は日本人として誇りにするとともに世界に普及を」、**教員**から「中学校教師として『あたらしい憲法のはなし』で子供たちと共に学んだ」など。

**世論調査結果**：「戦争放棄賛成70%」（『毎日新聞』1946年5月27日付）

\*尚、冊子『平和憲法の初心』（無料）は当日の憲法集会で希望者に配布される予定です。

<協賛団体 五十音順> 旭水九条の会 カトリック札幌地区正義と平和委員会 公園通り法律事務所 国民救援会北海道支部 自由法曹団北海道支部 戦禍を語り継ぐ会 たかさき法律事務所 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北海道本部・札幌支部 道退教札幌支部 日中友好協会札幌支部 日朝協会北海道支部連合会 非核の政府を求める会 北海道アジアアフリカデンアメリカ連帯委員会 北海道エスベラント連盟 北海道革新懇 北海道憲法改悪反対共同センター 北海道合同法律事務所 北海道平和委員会 北海道宗教者平和協議会 北海道被爆者協会 北海道歴史教育者協議会 北海道歴史研究者協議会（5月3日現在）

主催：札幌郷土を掘る会

2013年5月

連絡先： T・F011-785-2622（小松方）

2013年度 第3回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時：2013年4月14日（日） 13:00～16:50 ザメンホフ忌（命日：1917. 4. 14）  
場所：札幌エルプラザ 2階 市民活動サポートセンター ミーティング  
ルーム

出席者：横山、星田、阿部、小淵、後藤、山下、川合（記録）

[組織]

入会・退会者：なし

[財政]

- ・JEIより昨年の日本大会現地協力金（仮称）として100,000円の入金あり。
- ・HEL会計（財産）を万が一に備えて分散管理する。通帳の一部を阿部→川合

[広報]

- ・ホームページ：アクセス数69,203件。
- ・掲示板で『若きウタリに』の試訳が進行中。「エスペラント文筆家ML」に情報を流して、協力（書き込み）を求めている（横山）。
- ・メールマガジン：現在、166号まで発行。最近は何でしまった。近く再開したい。読者からの反応はほとんどないのが残念（横山）。

[情報・宣伝]

- ・4月16日、苫小牧ケーブルテレビがTESを取材に来る予定。
- ・「しみサポメルマガ」（市民活動サポートセンター発行のメールマガジン。行事などの案内を掲載してくれる）の活用を検討する→とりあえず、川合が読者登録

[教育・研究]

- ・SES, TES：従来どおり。
- ・和歌山エスペラント会より、本の寄贈の連絡あり。『稲むらの火』（日本語・英語・エスペラントの3言語併記）を無料で頒布して下さる由（5月10日まで）。

[機関誌]

- ・4月14日、「Heroldo de HEL」第146号、90部印刷・発行。
- ・機関誌の大きさは、今後もB5を維持する。

[年間計画]

<初夏合宿>

6月29日（土）～30日（日）、柴田内科循環器科研修センター（札幌市西区）にて。

次号「Heroldo de HEL」に詳細案内掲載、その前に葉書で概要案内・参加呼びかけ。

<北海道大会>

10月19日（土）～20日（日）、かでる2.7にて。

外部講演者を次回委員会で決定する。委員会に先立って堀泰雄氏（群馬県）前橋市に川合より依頼の連絡。

[次回委員会]

2013年6月9日（日）。

議題：初夏合宿詳細、北海道大会。



LA FRATOJ LEONKORO 『はるかな国の兄弟』

これは、スエーデンの作家アストリッド・リンドグレンが1973年に発表した童話です。彼女は、「長くつ下のピッピ」や「名探偵カツレ君」などで有名ですが、私が彼女の作品を知ったのは大人になってからで、子供のうちに読むことができた若い人を羨ましいと思いました。

白い桜の花に囲まれた小さな橋の上に2人の少年が居る美しい絵の表紙の本です。裏表紙に記載された翻訳者の Kerstin Rohdin の記述によると、1987年はアストリッド・リンドグレンにとって80歳及び作家となって50年の記念すべき年ですが、この年はエスペラントにとっても100年目の記念すべき年なので、それにあわせて出版したそうです。

エスペラント訳にあたって、リンドグレンからの前書きもあります。

Mi tre bonvenigas, ke 'Bröderna Lejonhjärta' nun aperas en Esperanto!

La Fratoj Leonkoro - la du, kiuj venis al Nangijala, la lando longe malantaŭ la steloj - certe ne povis komprenigi sin per la lingvo de sia hejmlando - la sveda.

Mi opinias, ke ili bezonis alian, internacian lingvon, por povi paroli kun la homoj en la Ĉerizo-valo, kaj por komprenigi sin en la Dornrozo-valo. Kaj por Tengo, la kruela subpremanto kaj tirano necesis, ke li aŭdu la veron pri sia krueleco kaj pri sia senutila kaj senvaloro vivo en lingvo, kiun li povis kompreni. Eble Esperanto?

Astrid Lindgren

ヨナタンとカールの兄弟は、はるかな国ナンギヤラで生活をはじめます。そこには怪物カトラをあやつり村人を苦しめている騎士テングルがいて、2人は戦う決心をします。生と死、愛と憎しみ、正と邪との戦いといった冒険物語ですが、これは「長くつ下のピッピ」のような底抜けに楽しいお話ではありません。なぜなら、物語の最初で、カールは長生きできない病気でベッドで寝ており、ナンギヤラは死を恐れる弟にヨナタンが語った、死後に行く世界なのです。ヨナタンは火事の際にカールを助けて命を落としてしまい、一足先にナンギヤラに行つてそこで弟を待っています。全体に死の影がただよっていますが、この次はどうなるのかと夢中になる童話です。

積ん読状態でまだ読んでいないエスペラントの本は10冊以上持っていますが、実は、私が勉強会以外に、純粹に楽しみのため一人で辞書を片手に読んだのは、この本だけなのです。面白いですよ。

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

\*この号は原稿不足で頁が減り、札幌郷土を掘る会の頁が入ったので何とか格好がついたが、ほんとは自前の原稿でいっぱいになりたいものです。よろしく!

\*1年前来道した中国の YU Jianchao さんから Tibor Sekelj について問い合わせがあり、いま交信中。Yuさんは Sekelj の活動に関心を持ち、遺族から受け取った資料なども調査中とのこと。見せてもらったら半世紀前の北海道のエスペランティストと一緒に写真もあって驚きました。次号で紹介できるか、と思います。

\*私の読んだ本(2) は阿部さんの言うとおりの「全体に死の影がただよって」いて楽しい話とはいえないが・・・ もう何年前か台湾の不治の病の少女に折り鶴や見舞い文を送ったことがありました。あの(故) Suniちゃんの弟が「Suniは今も Nangijala にいるの?」と きくそうです。一緒にこの本を読み聞かされていたからでしょう。

\*\*\*\*\*

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、 青年会員(26歳未満) 1500円、  
購読会員 2000円、 家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

\*Redaktas la Organa Fako de HEL

c^e HOS^IDA Acus^i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

\*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudô-Sapôto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0126-62-4636

Retadreso : nordano@sea.plala.or.jp

\*TTT-ejo : <http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/index-j.htm>

\*Pos^tg^irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

\*編集:連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

\*事務局:川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo.143